

2019年3月
国立映画アーカイブ

キネマ旬報創刊100年記念 映画イラストレーター 宮崎祐治の仕事

The Works of Yuji Miyazaki, Illustrator for Films

At the Centenary of *Kinema Junpo* Magazine

2019年4月23日(火)～8月25日(日) *月曜日は休室です。

国立映画アーカイブ 展示室 (7階)

映画イラストレーター宮崎祐治の軌跡をたどる、
初の本格的な展覧会！



①



②



③

国立映画アーカイブでは、この2019年に創刊100年を迎える「キネマ旬報」誌を中心に、これまで40年以上にわたって活躍してきた宮崎祐治氏の魅力的なイラストレーションを紹介する展覧会を開催いたします。

その作品は、映画をめぐるありとあらゆる場所に顔を出してきました。テレビのCMや番組のディレクターという本業の傍ら、数々の映画雑誌はもちろん、カレンダーや書籍の装丁、ポスター、果ては映画館の壁面に至るまで描き続けてきたその仕事は多くの映画



⑤

ファンに親しまれてきました。ユニークな感性でデフォルメされた国内外、新旧の映画人たちの似顔絵や映画のシーンは、時にユーモラスであり、時にはシリアスでもあり、そこに添えられた手書き文字のコメントも一層の魅力を与えています。さらに、ディレクター経験が活かされた撮影現場のルポルタージュ

や、土地と映画のかかわりを丹念に調査してまとめた「映画地図」では他の追随を許さない境地を見せています。日本の熱心な映画ファンであれば、その絵には必ずや見覚えがあるはずです。本展覧会では作家の全面的な協力をいただき、原画を中心に、初期の貴重なポスターや未発表作品も交えて、映画への愛にあふれたその画業を総合的にご紹介します。



④

主催：国立映画アーカイブ 特別協力：宮崎祐治 協力：株式会社キネマ旬報社

展示の内容・見どころなど、詳細は次ページへ

◆宮崎祐治（みやざき・ゆうじ）

1955年東京都調布市生まれ。武蔵野美術大学造形学部在学中の1975年に「キネマ旬報」誌への投稿をきっかけに、映画イラストレーションを発表するようになる。卒業後は映像制作会社でテレビのCMや番組のディレクターとなり、併せて「キネマ旬報」誌をはじめとする数々の映画雑誌や書籍、カレンダーやポスターなどに作品を発表し、映画イラストレーターとして独自の地位を確立する。

「キネマ旬報」決算特別号に毎年掲載される「映画街路図」は今年で43回目を迎えた。2016年度日本映画ペンクラブ奨励賞受賞。著書に『東京映画地図』（キネマ旬報社、2016年）、『鎌倉映画地図』（鎌倉市川喜多映画記念館、2017年）など。



宮崎祐治氏

本展の見どころ

■40年以上にわたって第一線で活躍してきた**映画イラストレーター宮崎祐治氏**の映画イラストレーションの魅力に迫る**初の本格的な展覧会**。

■これまでほとんど公開されることがなかった**イラストレーションの原画約100点を中心に**、宮崎氏のイラスト作品が掲載されてきた**様々な映画雑誌、書籍の装丁、特集上映や展覧会のポスター、映画カレンダーなどをまとめて展示**。

■学生時代の投稿作品や、デビュー間もない時期に手掛けたポスターをはじめ、近年になって取り組んだ未発表の立体作品なども交えて、宮崎氏のこれまでの仕事を総合的に振り返る。

■宮崎氏の発案により、若手アーティスト中澤綾香氏が宮崎氏のイラスト作品をモチーフにしたウォールディスプレイを制作・展示。

■『ダーティハリー』のクリント・イーストウッドと『海街diary』の四姉妹のイラストレーションから制作した大型パネルの前では記念撮影も楽しめる。

■会期中のアーティスト・トーク（全4回）では、宮崎氏本人によるトークや、映画関係者との貴重な対談も予定。



立体作品：寅さん

展示の内容

・「映画街路図」とともに

デビューのきっかけとなった投稿作品とライフワークとなっている「映画街路図」をご紹介します。

・映画館の仕事

映画イラストレーター宮崎祐治を育んだ映画館に関わる様々な仕事をご紹介します。

・映画地図の仕事

宮崎祐治の独自の境地が最も発揮されている「映画地図」の仕事をご紹介します。

・カレンダーの仕事

カレンダーのために描かれた色彩豊かな原画の数々を展示。

・映画イラストレーション アトランダム

映画雑誌をはじめとする様々な媒体に発表されたイラストレーションをご紹介します。



⑥



⑦



⑧

アーティスト・トーク

■2019年5月18日(土)

対談 渡辺祥子氏(映画評論家) × 宮崎祐治氏

■2019年6月15日(土)

対談 前野裕一氏(「キネマ旬報」編集者) × 宮崎祐治氏

■2019年7月27日(土)

対談 金子修介氏(映画監督) × 宮崎祐治氏

■2019年8月17日(土)

トーク 宮崎祐治氏

※時間・場所は決まり次第、HP・SNS等でお知らせいたします。

※申込不要、参加無料(展示室内で開催のトークは、観覧券が必要です)



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

開催概要



展覧会名	キネマ旬報創刊 100 年記念 映画イラストレーター 宮崎祐治の仕事 The Works of Yuji Miyazaki, Illustrator for Films At the Centenary of <i>Kinema Junpo</i> Magazine
	主催：国立映画アーカイブ／特別協力：宮崎祐治／協力：株式会社キネマ旬報社
会期	2019 年 4 月 23 日（火）－8 月 25 日（日）
休室日	月曜日
開室時間	午前 11 時－午後 6 時 30 分（入室は午後 6 時まで） ＊毎月末金曜日は午前 11 時－午後 8 時（入室は午後 7 時 30 分まで）
会場	国立映画アーカイブ展示室（7 階）
アクセス	東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口 1 から昭和通り方向へ徒歩 1 分 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口 A4 から中央通り方向へ徒歩 1 分 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口 7 より徒歩 5 分 JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩 10 分
料金	一般 250 円（200 円）／大学生 130 円（60 円）／シニア・高校生以下及び 18 歳未満、障害者（付添者は原則 1 名まで）、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料 ＊料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。 ＊（ ）内は 20 名以上の団体料金です。 ＊学生、シニア（65 歳以上）、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。 ＊国立映画アーカイブの上映観覧券（観覧後の半券可）をご提示いただくと、1 回に限り団体料金が適用されます。 ＊2019 年 5 月 1 日（水・祝）は皇太子殿下の御即位を記念して展示を無料でご覧いただけます。 ＊2019 年 5 月 18 日（土）は、「国際博物館の日」（毎年 5 月 18 日）を記念して展示を無料でご覧いただけます。
イベント	■アーティスト・トーク 2019 年 5 月 18 日（土） <対談> 渡辺祥子氏（映画評論家）× 宮崎祐治氏 2019 年 6 月 15 日（土） <対談> 前野裕一氏（「キネマ旬報」編集者）× 宮崎祐治氏 2019 年 7 月 27 日（土） <対談> 金子修介氏（映画監督）× 宮崎祐治氏 2019 年 8 月 17 日（土） <トーク> 宮崎祐治氏
お問合せ	03-5777-8600（ハローダイヤル）
HP	https://www.nfaj.go.jp/exhibition/yujimiyazaki/

【本展覧会に関するお問合せ】

国立映画アーカイブ 上映展示室 白鳥・濱田・岡田

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 pr@nfaj.go.jp

広報用画像&読者プレゼント招待券申込書

「キネマ旬報創刊 100 年記念 映画イラストレーター 宮崎祐治の仕事」

送付先 国立映画アーカイブ 上映展示室 広報担当行
メール : pr@nfaj. go. jp FAX : 03-3561-0830

* 広報用画像をご希望の方は、本プレスリリースに掲載されている画像右下の番号をご参照の上、貸出を希望されるデータの口にチェックをつけ、上記の宛先までをご送付ください。

	①	『海街diary』（「鎌倉映画地図」より、2017年）
	②	『アニー・ホール』（「CINEMA CALENDAR 2005」より）
	③	ジョン・フォードとジョン・ウェイン（「CALENDAR 1996 CINEMA 101 DIRECTORS」より）
	④	『ダーティハリー』のクリント・イーストウッド（2018年）
	⑤	『昼顔』のカトリーヌ・ドヌーヴ（2018年）
	⑥	『シザーハンズ』（「CINEMA CALENDAR 2006」より）
	⑦	『おくりびと』（「CINEMA CALENDAR 2010」より）
	⑧	『男はつらいよ 寅次郎忘れな草』（「CINEMA CALENDAR 2006」より）
	⑨	「CALENDAR 1995 : CINEMA 100」より5月（コダック、1994年）
	⑩	「東京映画地図 ④6 巣鴨」[一部]（「キネマ旬報」2015年3月上旬号）
	⑪	「映画街路図 93」[一部]（「キネマ旬報」1994年2月下旬号）
	⑫	左：「映画イヤーブック 1995」表紙（江藤努編、社会思想社、1995年） 右：「映画ガイドブック 2001」表紙（原田雅昭・進藤良彦編、筑摩書房、2001年）
	⑬	文芸坐・文芸地下劇場「第7回陽のあたらない名画祭」ポスター（1980年）
	宮崎祐治氏プロフィール写真	
	展覧会チラシ	
画像データ貸出希望日時	月	日 時頃までに希望
読者プレゼント招待券	組	名（合計 枚） 希望します

プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。5. 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。6. 掲載紙(誌)は、1部、広報担当宛にご寄贈ください。web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。* 画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。* 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

お名前： _____ ご所属・媒体名： _____

出版物・放送番組名： _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____